

2025年度 岐阜市政特集



岐阜インターチェンジの開通で「観光誘客で大きな効果を得られる」と期待を示す柴橋正直市長＝岐阜市役所

柴橋正直市長 インタビュー

の理解、この努力によって、いかに用地の確保がき、いかに本格的な整備に力をつけて、28年度末までに完成予定。25年度には岐阜県と岐阜大を法定化し、今後は県と岐阜市、岐阜大、岐阜県薬科大4者で「キンシグル」をなすつもり。岐阜＝周辺の企業や地産地消を研究し、岐阜＝周辺で連携を取り組むことを目的に、岐阜＝周辺は農業者用地制度を設けた。岐阜＝許可制の規制も、部分かついていっている。果と連携してリアル、ライザサイエンスと果と連携に向けて進んでいる。

――経済圏では岐阜＝津市に企業立地を進めている。今後の展望は

[illegible][illegible]

目指す未来へ前進

岐阜IC開通効果を生かす

岐阜市道は、25年度、過去最大となる971万円の一般計当分費を組み、東海環状自動車道インターチェンジへ開通を契機とした経済活性化と誘客促進をはじめ、義務教育学校などの、立毛ファーストの取り組みを推進し、「岐阜県運動かまち」を掲げる政連を担ったきた築港直市45に、2期目の累計上げたる25年度の重点施策や予算編成の狙いを聞いた。

〔開通〕手は井上正博総合政策局報通本部長

[illegible]

26日にオープンした岐阜城楽市＝岐阜市大宮町

[illegible]

子どもの学びに注力／「地域力」立て直す

「こどもファースト」の取り組みでは、
岐阜市立初の義務教育学校である藍川北学園

「25年度当初予算に込めた思いを。」

が今月開校した。26年度は藍東学園の開校を予定しており、新しい教育環境が整いつつある。今後の取り組みは。

「過去最大の予算で一般会計が1971億
円。大きな要因は社会保障関係経費の増大で、
700億円を超えた。超高齢社会が進む一方